

ますが、食べてはいけないもの、また、SODを飲むにあたって気をつけなければいけないことはありますか？

「腎炎というのは、基本的に腎臓の細胞が弱って排出する力が落ち、尿毒症になる。つまり、腎機能が悪くなって毒素が排出されなくなる病気です。治りにくいといわれているが、要は、腎臓の細胞が元気になる、腎血流が良くなり、腎臓から毒素が出せるようにするにはSOD。これがいちばん効く。ただ、カリウムの数値があまり高い人はSODをたくさん飲めないけど、そうじゃなければ1日に6包から8包くらい飲むといいですね。まず、これが基本」

——気をつけなければいけない食事療法は？

「これはいろいろな。最低限、塩分はある程度控えるし、辛いもの、刺激物も控えるけれど。それ以外はやらなくていいです」

——え、でも、尿からタンパクがおろるからタンパク質を控えるような食事制限が多いと聞きますが。「ばかをいっちゃいかん。尿毒症と

いうのは身体のなかのタンパクがたまってきた尿毒症を起こすから、どうしてもタンパクがおしっこから出る。食事を制限するような病院は、そのタンパクを尿から出させないようにしようとしてタンパクを食べさせないようにするんだな。そりゃあタンパクを食べなかつたら尿からタンパク成分は出ま



んよ。でも、それで何が良くなっている？」

——はあ、何も変わらないですね。でも、摂らないことで腎臓を休めるとか：

「逆ですよ。人間、タンパクを摂らないとどんどん抵抗力が弱っていく。タンパクというのは人間を形

作っている重要な栄養素なんだ。そのタンパクを摂らなければ腎臓も弱る。つまり、尿からタンパクが出るのが悪いのではなく、タンパクを出してしまふ腎臓が悪くなっているんだ。だから、ちゃんと栄養を摂って腎臓を良くしないといけない。そのためにはSODなんだ。SODで腎機能を活性化

する必要はある。タンパクを抑えるなんてもつてのほかです。普通に食べて、同じような条件にしておいてタンパクが出ない腎臓にしないといけない。うちではマグニールのサンドバスに入れ、SODを飲んでもらいます。あと、睡眠不足もいけない。規則正しい生活とストレスをためないこと。そうすれば慢性の治りにくい腎炎も良くなります。食べながら良くなるなら、腎臓が良くなったことにはならないでしょ」

——なるほど。西洋医学はどうしても検査結果と薬で抑えるという方向なんでしょうね。もうひとつ質問をいただいでいて、肺繊維症と肺気腫にSODは有効でしょうかというものののですが、いかが

でしょうか。

「肺繊維症というのは肺が硬くなる病気で、昔は膠原病の末期に肺が硬くなる肺繊維症になって亡くなったものです。だから肺繊維症といえば、膠原病の検査をしました。今は、そんなの関係なしにもものすごく発症率が増えていきます。誰でも、どれだけでも発症する可能性のある病気です」

——それはどうしてですか？

「原因は排気ガス。排気ガスからは窒素酸化物が出る。窒素酸化物は活性酸素を出す。つまり排気ガスが肺の中に入って活性酸素が肺をつぶして硬くするんです。これを西洋医学では原因不明といっているが、間違いなく活性酸素が起因です。だから、現代ではなんぼでもいるんです。これを止めるのは

◆丹羽先生診察ご希望の方は

御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。

「腰から背中にかけて強打しました。大きな大学病院を始め、何度も病院を転々とし、私の痛みを適切に判断してくれるお医者さんを捜し歩きましたが、どこに行ってもただ痛み止めと湿布をもらってくるのみ。朝は起きれない、まともには座れない、立てない、外に出ても3時間が限度のこの状況を医者は放置するのか、と幻滅していました。でも、痛いと生活が困難なので鍼灸院やカイロなどで、知人に勧められたところは、とりあえず全部試して行っていました。そして、ほんの半年前にいつも行っている皮膚科で5年前の転落の際に尾骨の微妙な部分が折れていたことが分かったのです」

飲み始めて数日で劇的な効果を実感したSOD

「腰の骨が落ち着かない状態。背骨、肩、首が痛くなり、腰痛はもちろんだ。幼少からの肩こりがさらにひどくなったんです。頭が慢性的にぼくっとしていました。動かそうとしているのに体が動かない。脳

からの指令が体に届かない感じとあったらいいでしょうか。同時に、実は手術後、何十年もわき腹の手術の跡がずっとジクジクした感触を持っていました。人に触れるると吐き気を伴うような鈍痛があり、なんだか変に凝り固まっている感じ、というのでしょうか。触れてはいけないブラックポイントみたいな。さらに、大学生のときに急性胃炎に襲われた時に、生まれつき十二指腸が人の半分以下しかないことが分かったんです。最近になって人よりも食べるのが遅く、肉類を食べると下痢するか、吐いてしまうのは、胃に負担をかけているのかなと思います。便秘やニキビがひどく、常に肌荒れを起しているのも消化器系の不調が原因ではないかと思ってきました。こんな感じで常に小さい頃から自分の体とその状態に向き合ってきた私は、同年代の人の何倍も健康に敏感ですよ。でもこうやっ



て改めて話してみると、どれだけ不健康な人かと思えますよね(笑)」
確かに。次から次へと体調不良の原因が現われ、さぞや日々の生活がだるくてつらいのではないかと。そんなときに出会ったのがSODでした。

「ついこの間の秋に、薬剤師をしている妹と3泊の旅行に出かけたとき、私の状態は普通じゃない、どこがおかしいというんです。必要な栄養が摂れてないから、疲れやすくご飯もまともに食べられないんだと。その時すぐにいいサプリメントがないかと探しました。あるとき電車の中でSODの広告を見つけたんです。あっ、これ、前に飲んでいたなと思い出し、ひよつとしたらこれがいかもしれない

と、家に帰ってネットでいろいろ調べてみたんです」

調べれば調べるほど、自分の状態に合うかもしれないと思った山下さん。さっそく1日3包から始めました。それが去年の10月のことでした。

「これが、もう、びっくりするくらい変ったんです。飲み始めて数日で便秘がなくなり、悪かった目覚めも良くなったんです。1週間くらいでだるさが抜け、同時に肩こりも和らいできたんです。こんなに短期間で効くのならば、もっとたくさん飲めば、もっと良くなるんじゃないかと思って、1日6〜8包飲み始めたんです。そして7歳からずっと悩みの種だった手術跡のしこりのようなものがなく

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

なっていたんです。同時にジクジクもなくなり、腰も座りだしました。これは嬉しかったですね。それと、今まで朝起きてお腹がすぐということを感じたことがなかったんですが、最近、朝、お腹がすぐのようになりました。胃腸がちゃんと動き出した感じなんです。ああ、お腹がすくって、こういうことなんだって(笑)」

このインタビューをさせていただいた時点ではSODを飲み始めて数ヶ月でした。それなのに次々と体調が良くなり、毎日が嬉しい発見の日々とか。

「今は楽しみで仕方ないんです。次はどこが良くなるんだろうって。そうそう、むくんでいた身体も、スツキリして痩せたんですよ。希望としてはニキビ跡が改善されたら嬉しいです。いつも肌荒れ状態で、おそらく皮膚のバリア機能が落ちていると思うんです。それも含めて、また、順次、経過を報告しますね」

31歳という若さですから、お肌の状態もおそらく改善されていくことと思います。その報告をいただける日が楽しみです。

会場が変更になりました!

東4ホールE会場 ビジネスセミナー

健康博覧会 2010 丹羽先生講演

講演テーマ 「がん治療 究極の選択」

神は自然の恵みのうちに全ての良薬を与え給う
活性化した生薬を用いて苦しまずに延命できる医療

3月19日(金) 10:30 ~ 12:10 聴講無料



「健康博覧会」が東京お台場のビッグサイト国際展示場で開催されます。丹羽メディカル研究所は今年も出展します。同時に、19日には統合医療の先駆者、丹羽耕三医学博士の講演も行われます。聴講無料ですのでお気軽にご参加ください。

東京ビッグサイト (東京国際展示場)
りんかい線「国際展示場」駅 徒歩約7分
ゆりかもめ「国際展示場正門」駅 徒歩約3分

